

男性のケア参画（育児・看護・介護）を支援するための講座作り（ワークショップ）

（NPO 団体）パパの育児・看護・介護支援センター 代表 古山陽一（国際医療福祉大学助教）



団体紹介 当センター（<https://ikujishien.wixsite.com/papa>）は、看護系大学の男性教員による社会活動の一環として、「男性のケア参画」に向けた支援を行ってきました。男性性のケアワーカーならではの経験と専門知識や技術に基づいた講演・研修等を各地で行い、女性と対等に育児・看護・介護を担う「ケアメン」の育成に力を注いでいます。

フォーラム参加動機 NVEC が主催する「男女共同参画推進フォーラム」でワークショップを開催するのは、これで 5 回目になります。毎回、多くの熱心な参加者の方々に恵まれ、筆者自身も刺激を受けてきました。当センターにとって NVEC は、「ケアワークにおける男女の役割平等化」を推進していく上で、欠かすことのできないパートナーです。

プログラム内容 近年、男性の育児・介護等へのケア参画が、喫緊の課題であると言われるようになってきました。こうした現状を踏まえ、本ワークショップでは、男性のケア参画（育児・看護・介護）を支援するための講座作りについて、参加者の方々と共に検討を行いました。最初に、「男性性のケアワーカー（male nurse）としての経験からみえる男性支援の現状と課題」のタイトルで筆者が講義を実施し（写真）、この中で NVEC が 2013 年に作成した「男性を対象とした学習プログラムの考え方」

（<https://www.nvec.jp/research/cb4rt20000001nd4-att/program.pdf>）に関しても解説させて頂きました。その後、5 名 1 グループに分かれ、男女共同参画センターの講座企画者であるという想定で、男性のケア参画を支援するための講座企画案についてアイデアを出し合いました。最後に、全体共有として企画案の発表を行いました。終始活発な討議がなされ、日頃の活動における課題意識等を基に、熱のこもったやり取りが展開されました。

主催者の感想／参加者の声 「講義はもちろん、グループワークでたくさんの意見が出て学びの多い充実した時間でした」等、終了時に実施したアンケートからは、新たな学びや気づきが多く、男性のケア参画に向けた支援のあり方について再考する機会にもなったようです。今後は、これらの学びが形となり、実践へと繋がっていくことを願っています。